

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コネクト×さいころ				
○保護者評価実施期間	令和 7年 3月 25日		～		令和 7年 4月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)		1
○従業者評価実施期間	令和 7年 3月 25日		～		令和 7年 3月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)		2
○訪問先施設評価実施期間	令和 7年 3月 17日		～		令和 7年 3月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	1	(回答数)		1
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 4月 28日				

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員に作業療法士を配置しているため、姿勢や教材など専門性をもった支援を提供できる	介入できる日は園側のご迷惑にならないよう2名体制で訪問し、児童・担当の先生にそれぞれ介入できるよう心掛けている 定期的に訪問支援の児童の振り返りを行っている	自立支援協議会が開催する市内の保育所等訪問支援事業所の連絡会に参加し、他事業所の取り組みなどを参考に支援に活かせるようにしたい
2	保育所等訪問支援に介入する児童は通所児童を対象としているため、学校の課題を通所先で取り組む等と相互の支援を統一して介入している	姿勢保持に必要なクッション等を事業所から持ち出し及び貸し出して、学校や保護者へ使用用途を説明できる	訪問先に適切なアドバイスができるよう専門分野でのスキルアップをはかれるよう体制を整える
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員が2名であり、多角的視野からの支援が薄い	訪問支援への協力体制を強化しておらず、訪問支援員のみに任せてしまっている	研修を通して資質向上を図る 支援会議の充実化を図り対象児童への場面ごとの支援方法を検討し、訪問先での支援や担当者からの質問等への回答に活かす
2	訪問希望日の日程調整や通所事業との兼ね合いもあり、新規の受け入れに制限が出てしまう	訪問支援員の業務負担の軽減と人員補充が必要	訪問先の担当者や関係機関とのカンファレンスを通じて、本人を取り巻く環境での情報共有と支内容の統一、スムーズな連携がもてるよう調整を進めます
3			